

## 復興投資が徐々に顕現化

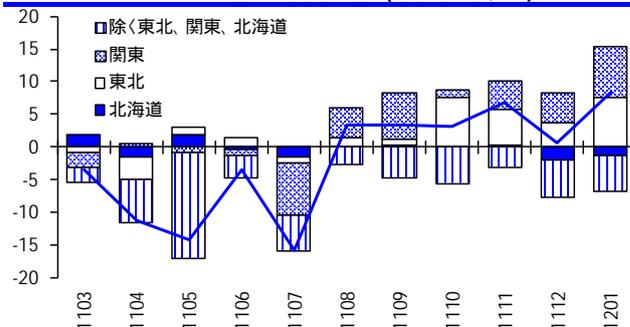
野田首相は、2月24日の参院本会議にて、補正予算に計上した東日本大震災の復旧・復興関連予算の執行率が1月末時点で55%になっていると答弁した。また、前田国土交通相も24日の閣議後記者会見で国土交通省予算の68%が国土交通省として執行済（地方政府が予算を使用できる状態）と述べている。確かに、公共投資に先行して推移する公共工事請負額の動向に基づくと、2011年度第1次や第3次補正に計上された復興関連の公共投資は執行が徐々に進んでいる模様である。

公共工事請負額の推移を見ると、2011年8月から前年比で増加へ転じ、2012年1月には前年比8.5%まで伸びが高まっている。地区別の内訳を見ると、関東地区が8月前年比20.4%、9月32.2%と先行して増加した後、遅れて東北地区が10月80.8%、11月56.6%、12月46.1%と伸びを高め、特に、1月は121.5%と前年の2倍まで膨らんだ。こうした増加は東日本大震災に伴うものと考えられ、東北地区の増加が遅れたのは、がれき処理や被災自治体側の体制整備に時間を要したことや、実際に工事などを担う建設会社も震災により被害を受けていたためと推測される。

震災による影響が少ないと考えられる北海道・東北・関東以外の地域の請負額動向を公共工事のベース推移と仮定し、復興関連による押し上げ寄与を見ると、確かに8月以降に復興関連の公共事業が膨らんでいることが確認できる。この試算に基づくと、2011年4月～2012年1月の累計で、公共事業請負額は復興関連事業により6.8%程度押し上げられている。

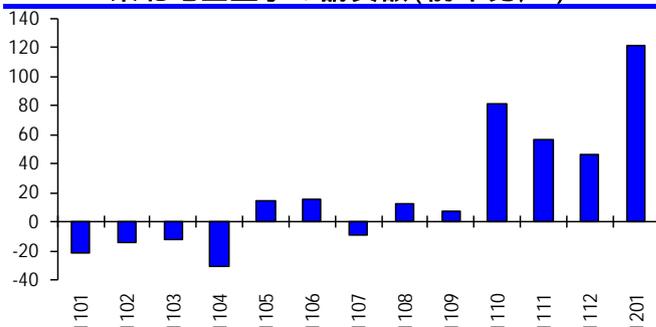
2011年10～12月期の公共投資は前期比2.5%（7～9月期1.6%）と2四半期連続で減少したが、先行指標である公共事業請負額の動向を見る限り、2012年前半に公共投資は明確に増加すると見込まれる。

### 公共工事の請負額(前年比、%)



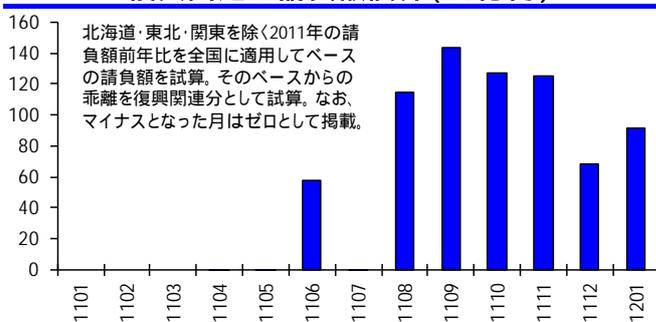
(出所)公共工事前払金保証統計

### 東北地区工事の請負額(前年比、%)



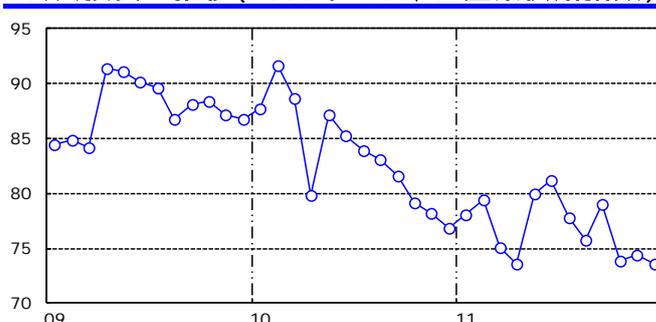
(出所)公共工事前払金保証統計

### 復興関連の請負額試算(10億円)



(出所)公共工事前払金保証統計

### 公共投資の推移(2005年=100、全産業供給指数)



(出所)経済産業省